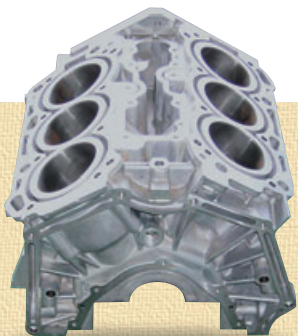


RYOBI

株主のみなさまへ

第95期 報告書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで



DIE CASTINGS



BUILDERS' HARDWARE

PRINTING EQUIPMENT

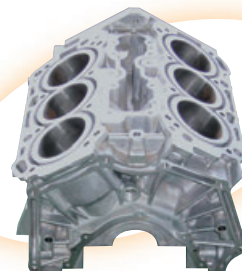


POWER TOOLS



67.7% ダイカスト事業

世界トップクラスのダイカストメーカーとしてのノウハウ、日本・米国・欧州・中国での生産体制などを活かし、自動車メーカーなどとの関係を強化・拡充しています。世界戦略体制を一層強化するため平成19年4月、メキシコへ生産拠点を設立しました。



連結売上高
構成比

19.5% 印刷機器事業

精度の高い多色化と機能の高度化を追求し、世界市場での評価を一層強固にするため、新商品の開発、生産力・販売力の強化などを進めています。また、IT化・デジタル化に対応した商品や環境に配慮した商品を開発するなど、マーケットニーズに合った商品の拡充に取り組んでいます。中型印刷機の需要増加に対応するため、広島東工場の生産能力の一層の増強をはかり、拡販を進めます。



12.8% 住建機器事業

この事業は、パワーツール（電動工具、園芸用機器等）と建築用品（ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等）で構成しています。

■パワーツール

小型、軽量、コンパクトをコンセプトにした商品開発体制、日本と中国・大連での生産体制などを活かし、プロ用からDIYまでニーズに応えた商品を提供しています。



■建築用品

主力のドアクローザなどは、主として中国・大連、台湾で生産しています。特長のある商品の開発、生産性向上によるコストダウンの推進、価格競争力の強化などにより、収益性の向上をはかっています。



■目次

ごあいさつ	2	トピックス	8	株式の概要	12
決算の要点解説	3	連結財務諸表	9	会社の概要・役員	13
事業の概況	5	単独財務諸表(要旨)	11	アンケート集計結果のご報告	14

ごあいさつ

技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第95期（平成19年3月期）報告書をお届けするにあたり、ごあいさつ申し上げます。

当社グループは「技術と信頼と挑戦で、健全で活力にみちた企業を築く。」を企業理念としております。お客様や社会のニーズに応え、独創的で高品質な商品やサービスを創造し、提供することにより、かけがえのない存在になることを目指しております。また、ダイカストと完成商品をあわせもつ企業として成長・発展し続けるために、競争力の強化、収益力の向上に努めております。

昨今、CSR（企業の社会的責任）に関心が高まっておりますが、当社グループは企業理念を実践することがCSRの推進であると認識しております。企業情報の開示、コンプライアンス、リスク管理、内部統制など、いろいろな面でコーポレート・ガバナンスを充実しているところです。

当社は収益力の向上、企業体質の強化をはかりながら、業績に応じた安定した配当を継続することを基本としております。当期の配当につきましては、先の定時株主総会でご承認いただきましたとおり、1株当たりの期末配当金を2円増配して年間12円といたします。支払開始日は6月27日といたします。

株主の皆様には引き続きご理解とご支援を賜りますとともに、今後とも末永くご愛顧をいただきますようお願い申し上げます。

平成19年6月



代表取締役会長

代表取締役社長

浦上 浩 吉川 進

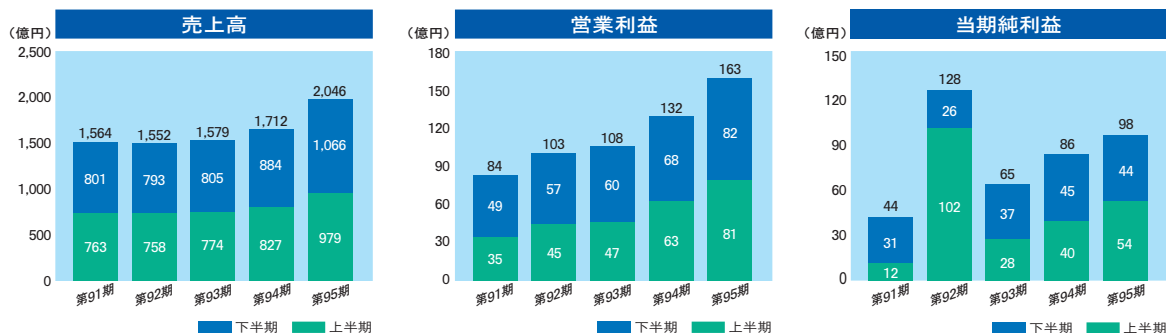
決算の要点解説

売上高は3期連続の増収

営業利益・経常利益はともに5期連続の増益で、過去最高

当期純利益は2期連続の増益

次期(第96期)は増収・減益の見込み



■ 連結の業績推移

() 内は平成・月

科目	第91期 (14.4~15.3)	第92期 (15.4~16.3)	第93期 (16.4~17.3)	第94期 (17.4~18.3)	第95期 (18.4~19.3)	第96期見通し (19.4~20.3)
売上高(百万円)	156,457	155,250	157,964	171,232	204,671	212,500
営業利益(百万円)	8,452	10,347	10,834	13,214	16,353	14,200
経常利益(百万円)	8,045	9,998	11,301	13,407	16,408	13,700
当期純利益(百万円)	4,470	12,812	6,581	8,635	9,877	7,900
1株当たり当期純利益(円)	26.26	76.40	39.33	51.31	58.92	47.09
総資産(百万円)	165,487	160,574	157,420	177,864	202,528	—
純資産(百万円)	38,365	50,040	55,293	66,756	75,757	—
1株当たり純資産(円)	227.84	299.05	330.62	398.35	445.93	—

※第91期から第94期の純資産には「少数株主持分」を含んでおりません。

売上高・利益の状況

当期は原油や原材料価格の上昇・高止まりなどによる影響が懸念されましたが、欧州、アジアの経済は概ね堅調に推移しました。わが国経済も企業収益改善に伴う設備投資の増加や雇用情勢の改善など、ゆるやかに回復を続けました。しかし、為替の変動や米国経済の減速懸念など、先行きについては不透明感が強まりました。

このような情勢のもとで、当社グループは積極的な販売活動を進めるとともに、ユーザーニーズをとらえた新商品の開発、原価低減や経費削減、業務の効率化など諸施策を実行しました。

その結果、当期は下記の「業績推移」に記載のとおり連結、単独とも増収・増益となりました。

売上高はダイカスト、印刷機器、住建機器の全事業で伸ばし、連結では3期連続の増収、単独では5期連続の増収でした。特に、ダイカスト事業と印刷機器事業が好調でした。売上高の増加、原価低減の取り組みなどにより、連結、単独とも営業利益・経常利益は5期連続の増益、当期純利益は2期連続の増益となりました。営業利益及び経常利益は過去最高額でした。

資産・負債等の状況

当期の連結総資産は、流動資産では売上債権やたな卸資産の増加、固定資産では有形固定資産の増加などにより前期末に比べ増加しました。

受取手形割引高を除いた連結の有利子負債残高は、383億円となりました。連結の純資産は、当期純利益による増加や配当金の支払いによる減少などにより757億円となり、自己資本比率は36.9%となりました。連結の設備投資は、鋳造工場・印刷機器工場の新設、鋳造機械設備・加工設備の増強などにより200億円でした。

次期(第96期)の見通し

原油や原材料価格の高止まり、米国の経済動向、為替の変動、利上げなど景気に影響を与えるいろいろなりリスク要因があります。また、税制改正に伴う減価償却制度の変更などもあるため償却費負担となり、利益を圧迫します。

このような厳しい状況下で当社グループは、商品開発力・製造力・販売力を高めるとともに、さらなるコストダウンや生産性向上の取り組みを一層徹底して、競争力の強化、収益力の向上をはかります。

現時点における次期の見通しは、下記のとおり連結、単独とも前期比増収ながら減益となる見通しです。売上高はダイカスト事業、印刷機器事業が伸ばし、住建機器事業はほぼ横ばいとなると見込んでいます。利益の面では、前期に比べて減価償却費の負担が大幅に増加することなどにより減益を見込んでいます。

■単独の業績推移

科目	第91期 (14.4~15.3)	第92期 (15.4~16.3)	第93期 (16.4~17.3)	第94期 (17.4~18.3)	第95期 (18.4~19.3)	第96期見通し (19.4~20.3)
売上高(百万円)	106,211	106,418	112,387	126,390	154,666	160,500
営業利益(百万円)	5,574	5,881	6,943	10,166	13,410	11,400
経常利益(百万円)	5,732	6,415	7,908	11,092	14,415	11,900
当期純利益(百万円)	3,797	9,110	4,505	6,751	8,341	6,900
1株当たり当期純利益(円)	22.26	54.23	26.87	40.02	49.72	41.13
総資産(百万円)	124,158	124,449	121,828	137,088	155,566	—
純資産(百万円)	38,141	46,375	49,363	58,190	63,725	—
1株当たり純資産(円)	226.10	276.56	295.10	346.83	379.83	—

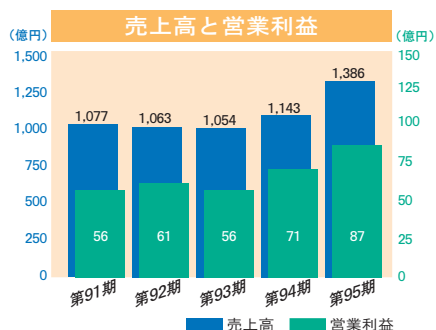
()内は平成・月

事業の概況

ダイカスト事業

売上高は1,386億22百万円（前期比21.3%増）、営業利益は87億68百万円（同22.4%増）、売上高営業利益率は6.3%（前期は6.3%）となりました。

日米の自動車メーカー向けが堅調で増収となりました。利益については原材料価格の上昇などの厳しい状況が続きましたが、売上の増加やコ



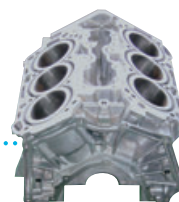
軽さとリサイクル性で、省エネルギー・省資源に貢献するダイカスト

当社は、金型の設計・製作から鋳造、加工、組立に至るまでを一貫して行う世界トップクラスのダイカストメーカーです。

ダイカスト製品は、軽量かつ耐久性に富み、リサイクル性に優れ、省エネルギー、省資源の環境面からも注目されています。

特に、軽量化・低燃費を進める自動車には、エンジン、トランスミッションなど数多くの部品に当社のダイカスト製品が採用されています。

例えば、三菱自動車工業株式会社様の北米向け「アウトランダー」のエンジン部品にも当社の製品（シリンダーブロック）が使われています。



シリンダーブロック
（三菱自動車工業株式会社様の「アウトランダー」へ搭載）

ストダウンなどにより増益となりました。地球環境保護、省資源、省エネルギーは世界的なテーマであり、ダイカストはこれらを実現する有効な技術として、今後ますます成長することが期待されています。自動車分野はもとより自動車以外の分野へも用途を拡大するとともに、コストダウン・生産性向上に一層注力します。

ダイカストってなに？

ダイカストとは、精密な金型に溶かしたアルミニウム、マグネシウム、亜鉛など非鉄金属の合金を高速、高圧で注入し、瞬時に成形する技術及び製品のことをいいます。

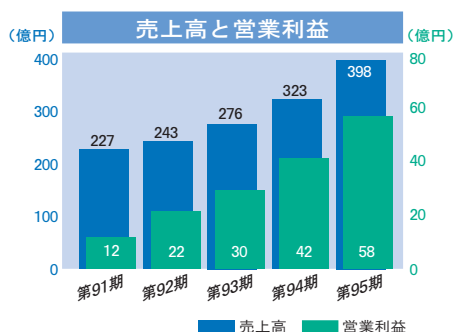
ダイカストは、寸法精度が高く、肉厚の薄い複雑な形状の製品をつくることができます。また、同一形状の製品を大量に生産することができ、大幅なコストダウンがはかれます。

このような優れた特徴をもつダイカスト製品は、自動車、家電、OA機器、産業機械、建築用品など幅広い分野の構成部品として活躍しています。

リョービは、自動車向け（シリンダーブロック、トランスミッションケース、サブフレームなど）を中心に、農機・住宅向けなどのダイカスト製品を製造しています。

印刷機器事業

売上高は398億29百万円（前期比23.3%増）、営業利益は58億68百万円（同37.0%増）、売上高営業利益率は14.7%（前期は13.3%）となりました。欧州・米州・アジア向けを中心に輸出が好調で、中型印刷機（B2・A2・B3サイズ）及びデジタル印刷機の販売を伸ばし増収となりました。利益



全自動刷版交換装置を搭載した 10色オフセット印刷機「RYOBI 7510P」

ワイドな印刷面積や自動化・省力化システムが世界中で高く評価され、好調な販売が続いているRYOBI 750シリーズ。このシリーズ最大の印刷ユニット数となる10色機で、印刷の版の交換を全て自動で行う全自動刷版交換装置RYOBI Full-RPCを搭載した「RYOBI 7510P」を発売しました。印刷準備作業が短時間に簡単に行え、B5判16ページの5色印刷が一度にできるため、お客様から「収益性の拡大が可能な印刷機」と大きな期待を寄せられています。



については売上高の増加とコストダウンを一層進めたことにより増益となりました。今後もユーザーニーズをとらえた商品開発、販売促進活動を積極的に行うとともに、中型印刷機の需要増に対応して生産能力の増強をはかり、一層の収益拡大をめざします。

オフセット印刷ってなに？

現在、ポスター、パンフレット、チラシなどの商業印刷のほとんどが「オフセット印刷」という技術で印刷されています。

この「オフセット」という言葉は、印刷する版に付けたインキを、一旦、ゴム製のローラーに転写し（オフ）、次にローラーから紙に再び転写すること（セット）に由来します。

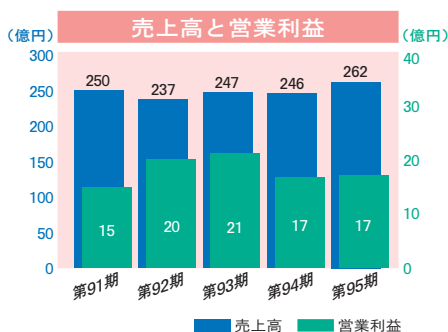
インキを金属製の印刷の版から直接、紙へ転写するよりも、一旦、ゴム面へ写した後に紙へ転写することで、どのような紙にもゴムの弾性を利用して文字や画像をしっかりと印刷できるため、多様で高品質な印刷が実現できます。

リヨービは、世界トップメーカーとしての地位を築いた小型オフセット印刷機をベースに、生産性、機能性を追及した高精度の中型オフセット印刷機やデジタルオフセット印刷機を開発しています。

事業の概況

住建機器事業

売上高は262億19百万円(前期比6.6%増)、営業利益は17億15百万円(同2.9%減)、売上高営業利益率は6.5%(前期は7.2%)となりました。競争がますます激化する中で、パワーツール・建築用品とも売上を伸ばしましたが、利益の面ではわずかに減益となりました。



業界初！リチウムイオン電池を採用した充電式「ヘッジトリマ」「バリカン」

園芸用機器では初めてリチウムイオン電池を採用した新商品を発売しました。生垣や植込み、芝生の手入れに使用する充電式ヘッジトリマ「BHT-2600」と充電式バリカン「BB-1600」です。

この新商品は、充電式のため電源コードがないので、作業中に誤ってコードを切断することがありません。また、軽量・コンパクトで使いやすく、継ぎ足し充電もできるので効率良く作業が行えます。作業しながら刈り取った葉や枝、芝を効率良く収集できる便利なレシーバも付いています。



今後も海外で生産する強みを活かしてコストダウンや生産の効率化を進め、価格競争力のある商品、特長のある商品を提供していきます。

パワーツールにはどんなものがあるの？

リョービのパワーツールは、電気からバッテリー、エンジン、エアまで幅広くラインアップし、ハンディタイプのドリル、カンナ、グラインダから、バンドソーやホゾ取りといった大型機、芝刈機やヘッジトリマなどの園芸用機器まで豊富で多様な商品を提供しています。

高機能で耐久性に優れていること、軽量・コンパクトで身体的負荷を低減できること、資源の再利用に貢献できること(エコロジー)など、使いやすさと安全性に配慮したさまざまなパワーツールを開発しています。

バックチェック機能搭載のドアクローザ スリムなデザインで新発売

「バックチェック機能」を搭載したスリムなデザインの「B 1000 NEWタイプ」を発売しました。バックチェック機能とはドアの安全性を高める機能で、強風などによりドアが急激に開くことを制御します。近年、オフィスビルでは二重床(OA機器などの配線類を床下に収納するシステム)が普及しています。この床には戸当り(ドアと壁の接触・衝突を防ぐために床に設置する金物)を設置できないケースがあります。バックチェック機能を搭載したドアクローザは、このような場所のドアでも安全に制御できるので需要が高まっています。



トピックス

特定非営利活動法人リョービ社会貢献基金の活動

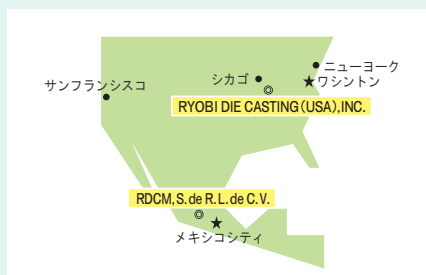
リョービ社会貢献基金では、社会貢献活動の一環として当社グループの事業所所在地の社会福祉施設などへの物品寄贈やボランティア団体への活動資金の援助を行っています。

平成18年度は、11ヵ所の社会福祉協議会へ軽自動車1台、車椅子14台、介護用品などを寄贈しました。また、8つのボランティア団体へ活動資金を援助しました。



メキシコにダイカスト製造会社を設立

平成19年4月、北米ダイカスト事業の生産能力を増強するため、RYOBI DIE CASTING (USA), INC. の新たな製造拠点としてメキシコ（グアナフアト州）に RDCM, S. de R. L. de C. V. を設立しました。約50,000㎡の敷地に約13,000㎡の建物を建設し、平成20年10月からダイカスト製品の生産を開始する予定です。新会社の本格稼動により北米での生産能力は、現状の約20%増加する見込みです。



印刷機器の新工場オープンハウスを開催

平成18年10月26日～28日の3日間、広島東工場に完成した印刷機器の第2工場を披露する「新工場オープンハウス」を開催しました。国内から311名・海外30ヵ国から150名のユーザーや販売代理店等のお客様が来場されました。

中型印刷機の需要はさらに高まっており、これに対応するため平成19年1月に第3工場の建設に着工しました。本年7月の完成に向け、工事は順調に進んでいます。



オープンハウスの風景

連結財務諸表

■ 貸借対照表 (平成19年3月31日現在)

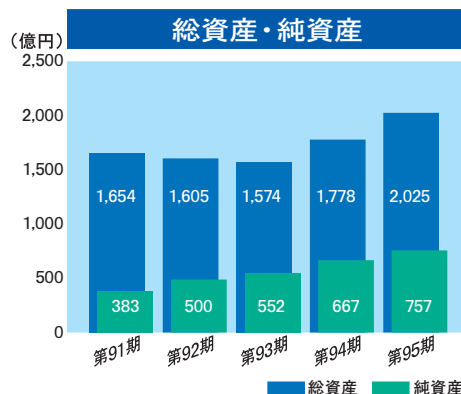
(単位：百万円)

【資産の部】		
科 目	当期	前期
●流動資産	110,574	96,891
現金及び預金	17,004	17,894
受取手形及び買掛金	47,130	42,691
有価証券	2,908	604
たな卸資産	38,398	31,919
繰延税金資産	2,161	1,386
その他	3,025	2,461
貸倒引当金	△ 54	△ 64
●固定資産	91,954	80,973
有形固定資産	73,028	60,306
建物及び構築物	19,566	16,992
機械装置及び運搬具	27,214	18,809
土地	21,325	19,576
建設仮勘定	2,226	2,435
その他	2,695	2,492
無形固定資産	1,990	1,827
投資その他の資産	16,936	18,839
投資有価証券	13,257	15,264
繰延税金資産	1,472	1,312
その他	2,252	2,348
貸倒引当金	△ 45	△ 85
資産合計	202,528	177,864

【負債の部】		
科 目	当期	前期
●流動負債	99,057	83,588
支払手形及び買掛金	49,956	35,818
短期借入金	24,114	26,425
未払法人税等	5,092	3,373
賞与引当金	2,319	2,202
役員賞与引当金	43	—
その他	17,531	15,768
●固定負債	27,713	26,579
長期借入金	14,217	13,397
繰延税金負債	3,283	3,265
再評価に係る繰延税金負債	674	674
退職給付引当金	6,549	6,906
持分法適用に伴う負債	409	417
その他	2,579	1,917
負債合計	126,771	110,167

【純資産の部】		
●株主資本	75,534	—
資本金	18,472	—
資本剰余金	23,750	—
利益剰余金	34,043	—
自己株式	△ 731	—
●評価・換算差額等	△ 719	—
その他有価証券評価差額金	5,144	—
繰延ヘッジ損益	△ 25	—
土地再評価差額金	626	—
為替換算調整勘定	△ 6,464	—
●少数株主持分	942	—
純資産合計	75,757	—
負債及び純資産合計	202,528	—

【少数株主持分】		
●少数株主持分	—	940
【資本の部】		
●資本金	—	18,472
●資本剰余金	—	23,680
●利益剰余金	—	25,885
●土地再評価差額金	—	626
●株式等評価差額金	—	6,228
●為替換算調整勘定	—	△7,370
●自己株式	—	△ 766
資本合計	—	66,756
負債、少数株主持分及び資本合計	—	177,864



※第91期から第94期の純資産には「少数株主持分」を含んでおりません。

■ 損益計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで) (単位：百万円)

科目	当期	前期
●売上高	204,671	171,232
●売上原価	164,519	135,088
●販売費及び一般管理費	23,798	22,929
営業利益	16,353	13,214
●営業外収益	1,529	1,631
●営業外費用	1,473	1,438
支払利息等	815	679
その他の営業外費用	658	758
経常利益	16,408	13,407
●特別利益	965	70
固定資産処分益	6	16
投資有価証券売却益	772	0
その他の特別利益	186	53
●特別損失	1,120	420
固定資産処分損	347	411
投資有価証券評価損	9	1
役員退職慰労金	763	—
その他の特別損失	0	8
税金等調整前当期純利益	16,253	13,057
●法人税等	6,353	4,206
●少数株主損益	23	214
当期純利益	9,877	8,635

■ キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

科目	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,119	15,165
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17,702	△ 7,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,120	△ 6,483
現金及び現金同等物に係る換算差額	217	80
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	1,514	794
現金及び現金同等物期首残高	16,097	15,303
現金及び現金同等物期末残高	17,611	16,097

■ 株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで) (単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等					少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
●平成18年3月31日残高	18,472	23,680	25,885	△766	67,271	6,228	—	626	△7,370	△515	940	67,696
●当期中の変動額												
剰余金の配当			△1,675		△1,675							△1,675
役員賞与			△ 43		△ 43							△ 43
当期純利益			9,877		9,877							9,877
自己株式の取得				△ 7	△ 7							△ 7
自己株式の処分		69		41	111							111
株主資本以外の項目の当期中の変動額(純額)						△1,084	△ 25	—	905	△ 203	1	△ 202
当期中の変動額合計	—	69	8,158	34	8,262	△1,084	△ 25	—	905	△ 203	1	8,060
●平成19年3月31日残高	18,472	23,750	34,043	△731	75,534	5,144	△ 25	626	△6,464	△ 719	942	75,757

単独財務諸表(要旨)

■ 貸借対照表 (平成19年3月31日現在) (単位: 百万円)

【資産の部】		
科目	当期	前期
●流動資産	92,012	78,375
●固定資産	63,554	58,713
有形固定資産	37,963	31,829
無形固定資産	465	340
投資その他の資産	25,125	26,543
資産合計	155,566	137,088
【負債の部】		
●流動負債	74,429	61,457
●固定負債	17,412	17,439
負債合計	91,841	78,897
【純資産の部】		
●株主資本	58,776	—
資本金	18,472	—
資本剰余金	23,654	—
利益剰余金	17,382	—
自己株式	△ 731	—
●評価・換算差額等	4,948	—
純資産合計	63,725	—
負債及び純資産合計	155,566	—
【資本の部】		
●資本金	—	18,472
●資本剰余金	—	23,654
●利益剰余金	—	10,761
●株式等評価差額金	—	6,028
●自己株式	—	△ 724
資本合計	—	58,190
負債及び資本合計	—	137,088

■ 損益計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで) (単位: 百万円)

科目	当期	前期
●売上高	154,666	126,390
●売上原価	126,603	102,792
割賦販売損益繰延前総利益	28,062	23,597
●割賦販売損益繰延金	△ 442	△ 963
割賦販売損益繰延後総利益	28,505	24,560
●販売費及び一般管理費	15,095	14,394
営業利益	13,410	10,166
●営業外収益	1,870	1,784
●営業外費用	864	859
経常利益	14,415	11,092
●特別利益	775	13
●特別損失	930	175
税引前当期純利益	14,260	10,929
●法人税等	5,918	4,178
当期純利益	8,341	6,751
●前期繰越利益	—	4,009
当期末処分利益	—	10,761

■ 株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

(単位: 百万円)

	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式			
●平成18年3月31日残高	18,472	23,654	10,761	△ 724	52,162	6,028	58,190
●当期中の変動額							
剰余金の配当			△ 1,677		△ 1,677		△ 1,677
役員賞与			△ 43		△ 43		△ 43
当期純利益			8,341		8,341		8,341
自己株式の取得				△ 7	△ 7		△ 7
自己株式の処分		0		0	0		0
株主資本以外の項目の当期中の変動額(純額)						△ 1,079	△ 1,079
当期中の変動額合計	—	0	6,620	△ 6	6,614	△ 1,079	5,534
●平成19年3月31日残高	18,472	23,654	17,382	△ 731	58,776	4,948	63,725

株式の概要

- 発行可能株式総数……………500,000千株
- 発行済株式の総数……………171,230千株
- 自己株式保有数……………3,457千株
- 株主数……………10,461名
- 株式の上場……………東京証券取引所

■ 大株主

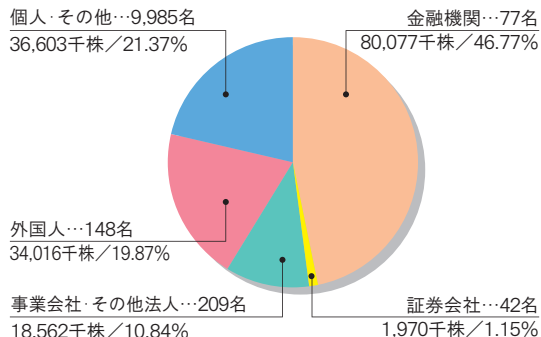
株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	12,167	7.10
明治安田生命保険相互会社	9,300	5.43
第一生命保険相互会社	8,067	4.71
日本生命保険相互会社	7,823	4.56
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,523	3.80
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	5,384	3.14
財団法人浦上奨学会	5,180	3.02
菱工会持株会	4,950	2.89
住友信託銀行株式会社	3,503	2.04
三菱UFJ信託銀行株式会社	3,324	1.94

(注) 当社は、自己株式3,457千株を保有しております。

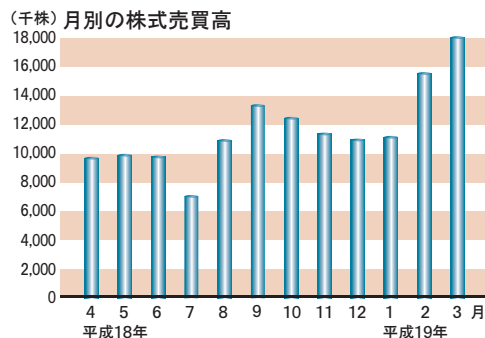
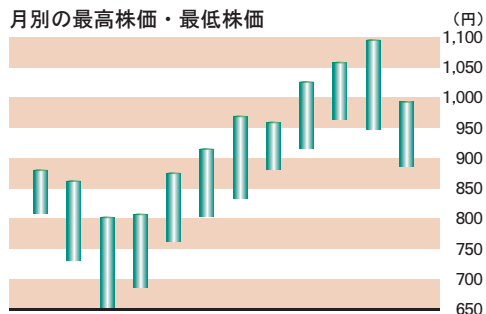
■ 配当金 (1株当たり)

	第92期	第93期	第94期	第95期
年間配当金	7円50銭	7円50銭	10円	12円

■ 株式分布状況 (所有者別) 合計 10,461名 / 171,230千株



■ 株価及び株式売買高の推移



会社の概要・役員

会社の概要

- 社 名 …… リョービ株式会社
- 英文社名 …… RYOBI LIMITED
- 設立年月日 …… 昭和18年12月16日
- 資本金 …… 184億7,219万円
- 社員数 …… 2,099名 (平成19年5月31日現在)
- 主要商品 …… ダイカスト製品
印刷機器 (オフセット印刷機、印刷周辺機器等)
パワーツール (電動工具、園芸用機器等)
建築用品 (ドアクローザ、ヒンジ、建築金物等)

事業拠点

- 本 社 …… 〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地 ☎(0847) 41-1111
- 東京支社 …… 〒114-8518 東京都北区豊島5丁目2番8号 ☎(03) 3927-5541
- 虎ノ門オフィス …… 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目7番1号
虎ノ門セントラルビル ☎(03) 3927-5541
- 大阪支店 …… 〒569-1135 大阪府高槻市今城町24番12号 ☎(072) 685-1122
- 営業所 …… 札幌・仙台・浜松・名古屋・富山・広島・福岡
- 広島工場 …… 〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地 ☎(0847) 41-1111
- 広島東工場 …… 〒726-0002 広島県府中市鞆町800番地の2 ☎(0847) 40-1600
- 静岡工場 …… 〒421-3292 静岡県静岡市清水区蒲原5215番地の1
☎(054) 385-3101
- 印刷機器工場 …… 〒726-0023 広島県府中市栗柄町444番地の1 ☎(0847) 45-5871

主なグループ会社

●ダイカスト事業

- リョービミラサカ株式会社
リョービミツギ株式会社
株式会社東京軽合金製作所
生野株式会社
RYOBI DIE CASTING (USA), INC.
RDCM, S. de R. L. de C. V.
RYOBI ALUMINIUM CASTING
(UK), LIMITED
利優比压铸 (大連) 有限公司

●印刷機器事業

- リョービマジクス株式会社
●住建機器事業
リョービ販売株式会社
リョービパワーツール株式会社
利優比 (大連) 機器有限公司
良友精工股份有限公司

(平成19年6月26日現在)

役員

■取締役

- 代表取締役 浦上 浩
代表取締役 吉川 進
取締役 田中 孝雄
取締役 横山 隆志
取締役 加村 幹夫
取締役 室家 士郎
取締役 石井 浩司
取締役 浦上 彰
取締役 鈴木 健二郎
取締役 (社外) 大岡 哲

■監査役

- 常勤監査役 小林 照三
監査役 (社外) 豊田 國弘
監査役 (社外) 加藤 大朗
監査役 三船 強

■執行役員

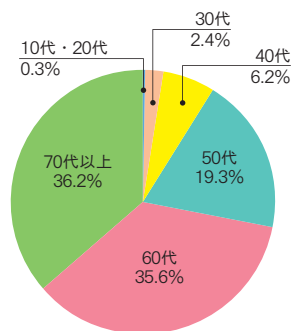
- 会長 浦上 浩
社長 吉川 進
常務執行役員 田中 孝雄
常務執行役員 横山 隆志
常務執行役員 加村 幹夫
常務執行役員 室家 士郎
執行役員 石井 浩司
執行役員 鈴木 健二郎
執行役員 伊東 邦侑
執行役員 本川 直道
執行役員 檀上 和秋
執行役員 大澤 章治
執行役員 堂本 秀樹

アンケート集計結果のご報告

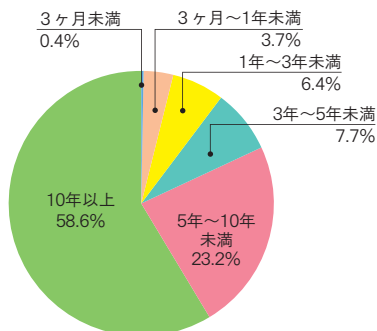
平成18年12月、第95期中間報告書に同封してお送りしましたアンケートにつきまして、1,895名の株主の皆様からご回答をいただきました。(回答率16.3%)

心より厚くお礼申し上げますとともに、お寄せいただきましたご回答の集計結果の一部をご報告させていただきます。

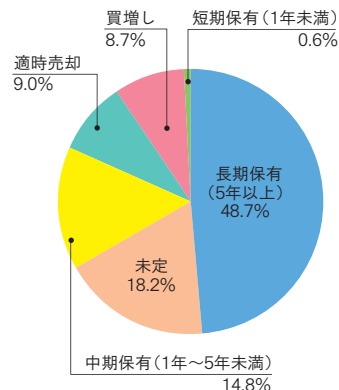
■ 回答者の年齢



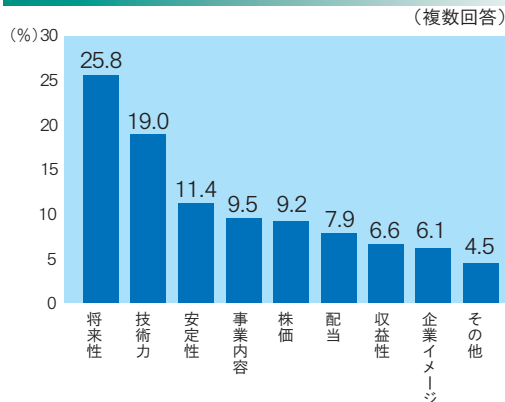
■ 当社株式の保有期間



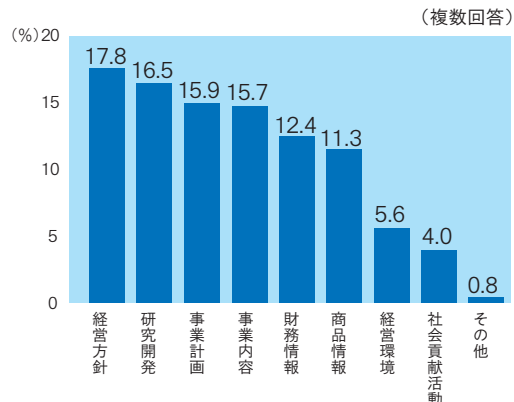
■ 当社株式について、今後どのようにお考えですか



■ 当社株式を購入された理由をお聞かせください



■ 当社に関してどのような情報をお知りになりたいですか



ご回答いただきましたご意見・ご要望等は、今後の経営やIR活動の参考にさせていただきたいと思っております。今後ともご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

「くらしごこち」がテーマです。



■ 株式事務についてのご案内

- 決 算 期 3月31日
- 基 準 日 定時株主総会基準日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
- 定時株主総会 6月中
- 公 告 の 方 法 電子公告「<http://www.ryobi-group.co.jp/>」
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
- 郵便物送付先 〒530-0004
及び電話照会先 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
Tel. 0120-094-777(フリーダイヤル)
※株式関係のお手続用紙のご請求は、次の三菱UFJ
信託銀行の電話及びホームページでも24時間承って
おります。
本店証券代行部 Tel. 0120-244-479(フリーダイヤル)
大阪証券代行部 Tel. 0120-684-479(フリーダイヤル)
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 同 取 次 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
野村證券株式会社 全国本支店
- 単元未満株式買取り請求
及び買増し請求場所 単元未満株式(当社の場合1,000株未満の株式)の
買取り及び買増しをご希望の方は、上記の株主名
簿管理人、同事務取扱場所及び同取次所にご連絡
ください。

リョービホームページでは、IRや商品等の最新情報に加えて、事業内容等を映像(動画)で紹介しています。ぜひご覧ください。

<http://www.ryobi-group.co.jp/>



RYOBI リョービ株式会社

本 社 〒726-8628 広島県府中市目崎町762番地
Tel. (0847) 41-1111



※この報告書はリョービ書体で制作しています。
また、古紙配合率100%再生紙と大豆インキを使用しています。